

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
助産管理実習	2	前期	1	実習 45時間
担当教員	志村千鶴子、久保幸代、下睦子			
授業概要	助産所における助産業務管理、物理的・人的環境の整備と調整、ケアシステムの維持管理等の実践を通して学び、対象者のニーズに沿った質の高い管理の基本的特徴を把握する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 助産所における助産師の活動範囲や業務管理、安全管理のための施設運営・関連機関との連携等について理解できる。</li> <li>2. 出産施設における助産業務管理、対象のニーズに沿った物理的・人的環境の整備と調整、ケアシステムの維持管理等について考察できる。</li> </ol>			
履修条件				
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助産所での助産管理に関する実習を1週間行う。</li> <li>・助産所の実習を通し、助産所における助産業務管理、連携活動、対象のニーズに沿った物理的・人的環境の整備と調整、ケアシステムの維持管理を知り、考察する。</li> <li>・助産所ですぐれたケアを実践している助産師とともに、妊婦健診、分娩時のケア、母乳ケア、家庭訪問などを見学し、周産期ケアの課題及び理想像について討議・考察する。</li> <li>・助産所における分娩の実際を見学し、質の高い助産ケアのあり方について考察する。</li> </ul>			
教科書	特に指定しない			
参考書	特に指定しない			
評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標達成行動による総合的評価(60%)</li> <li>・実習記録による学習成果(40%)</li> </ul>			
事前・事後学習	<p>事前学習：周産期施設における助産管理を理解するために既習の「助産管理論」を踏まえ、自己の実習目標を記述する。</p> <p>事後学習：対象のニーズに沿った物理的・人的環境の整備と調整、ケアシステムの維持管理、質の高い助産ケアの在り方についてについて考察し、レポートを作成する。</p>			
備考	特になし			